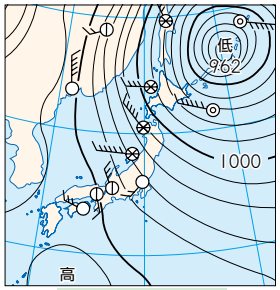
天気予報 ★☆☆

日本付近の天気は，(1) のえいきょうで (2) へと移り変わります。このことを利用して，気象衛星の画像などから (3) の動きを予想し，天気を予想することができます。

天気予報では，天気，降水確率，最高気温・最低気温，風向と風速などが発表されます。また，天気の予測にもとづいて，大雨や台風などの (4) も発表されます。



予想天気図の例

天気予報で使われる言葉

【降水確率】

天気予報で発表される (5) は，ある地域で一定の時間内に 1mm 以上の雨や雪が降る確率のことです。

＋プラスワン

降水確率が 30% というのは，30% という予報が 100 回発表されたとき，そのうちのおよそ 30 回は雨（または雪）が降るという意味です。降水量を表すものではありません。

【気温を表す言葉】

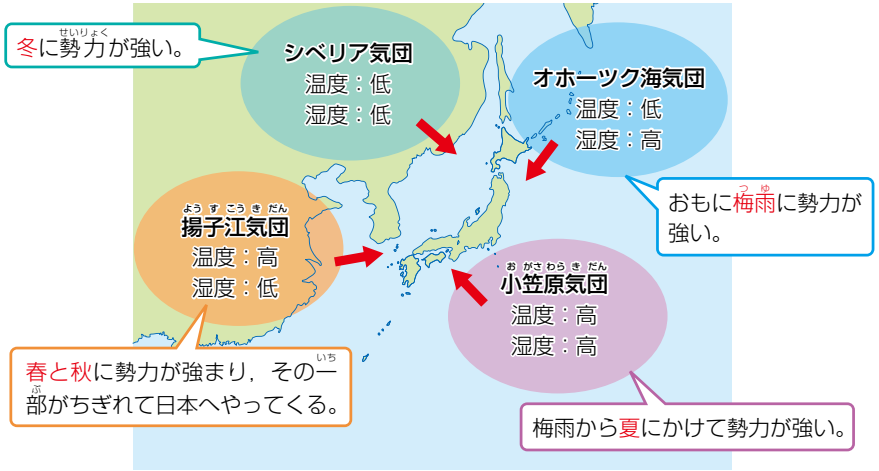
- ●夏日：最高気温が 25℃以上の日を表します。
- ● (6)：最高気温が 30℃以上の日を表します。
- ● (7)：最高気温が 35℃以上の日を表します。
- ●熱帯夜：夜間の最低気温が 25℃以上のことを表します。
- ●冬日：最低気温が 0℃未満の日を表します。
- ●真冬日：最高気温が 0℃未満の日を表します。

気団 ★★☆

広いはん囲にわたり，(8) がほぼ同じような空気のかたまりを気団といいます。まわりと比べて温度が低い気団を (9)，温度が高い気団を (10) とよびます。

日本のまわりの気団

日本は，すべて (11) の (12) の気団に囲まれています。



- ● (13)：大陸のシベリア地方で発生します。温度は (14)，湿度も (15) です。(16) に勢力が強くなります。
- ● (17)：中国の揚子江付近で発生します。温度は (18)，湿度は (19) です。(20) に勢力が強まり，その一部がちぎれて日本にやってきます。
- ● (21)：北海道の北東のオホーツク海上で発生します。温度は (22)，湿度は (23) です。おもに (24) に勢力が強くなります。
- ● (25)：日本の南東の太平洋上で発生します。温度は (26)，湿度も (27) です。(28) にかけて勢力が強くなります。

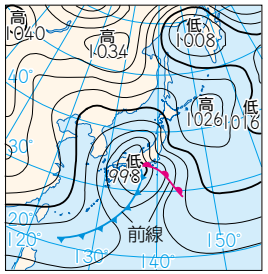
日本付近では，4 つの気団の勢力によって，高気圧と低気圧の位置関係（(29)）が季節ごとに変わり，特ちょう的な天気となります。

気団の性質は，発生する場所と関係があるのだ。北で発生すると温度が低く，南で発生すると温度が高い。また，海上で発生すると水蒸気をたくさんふくむので湿度が高く，大陸上で発生すると湿度が低いのである。

前線 ★★☆

暖気（あたたかい空気）と寒気（冷たい空気）が接すると，はっきりとした境界ができます。このときの境界を (30) といい，前線面が地表と接しているところを (31) といいます。

前線では，寒気は (32)，暖気は (33)。



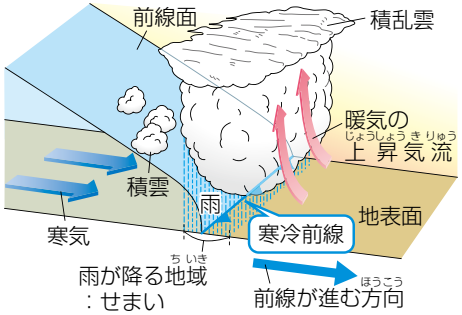
前線の種類

前線には，(34)，(35)，(36) などがあります。

【寒冷前線】

寒冷前線では，寒気のほうが暖気よりも勢いが強く，(37) 進みます。

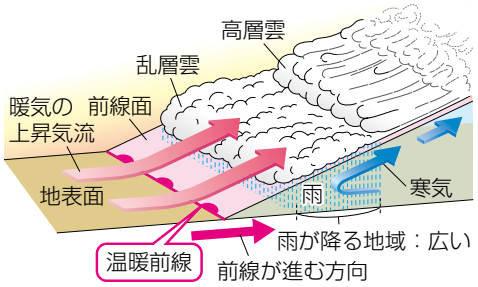
寒冷前線付近では，暖気が急激に上昇し，積乱雲や積雲をつくるため，(38)。前線が通り過ぎると温度が (39)。



【温暖前線】

温暖前線では，暖気のほうが寒気よりも勢いが強く，(40) 進みます。

温暖前線付近では，暖気がゆるやかに上昇し，乱層雲や高層雲をつくるため，(41)。前線が通り過ぎると温度は (42)。



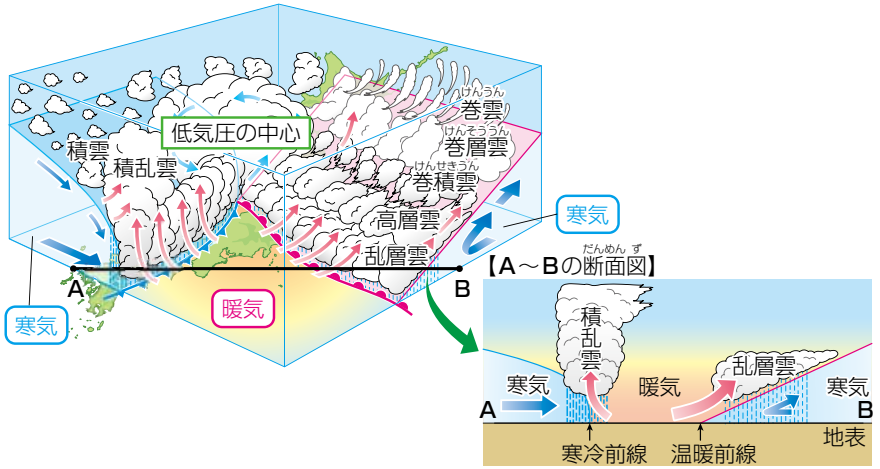
【停滞前線】

停滞前線では，暖気と寒気の勢いがほぼ等しく，前線は (43)。梅雨や秋のはじめごろに多く発生し，それぞれ (44)，(45) とよばれ，長い期間雨を降らせます。

低気圧と前線

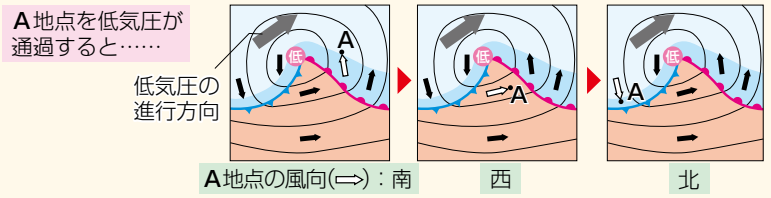
低気圧の中心付近では，上昇気流によって (46) します。

また，低気圧には (47) に風がふきこむので，日本付近では，低気圧の西側では北から (48) が入りこみ (49) ができ，低気圧の東側では南から (50) が入りこみ (51) ができます。



＋プラスワン

低気圧は場所によって風向が異なるので，低気圧の通過にともなって風向が変化します。



（注意）　本ドリルでは入試問題を掲載しておりません。